

全校の皆さんへ3つのメッセージ

私たち執行部は、4つの伝統を意識して活動をしていきました。そして「全校くすのき宣言」に書かれていることを意識し、大切に生活してきました。

1つ目のメッセージは、いじめについてです。

いじめは、された人だけでなく、した人もまわりの人もみんなが悲しくつらい気持ちになります。

このようないじめが起きないように、くすのき宣言にもある「ふわふわ言葉」「ふわふわ行動」を意識して、一人ひとりに同じ態度で接することを大切にしてほしいと思います。

また、則武小学校を笑顔いっぱいの学校にするために、くすのき宣言に書かれている他のことも大切にしながら生活してほしいです。

進級・進学まで残り2カ月です。僕たち執行部も笑顔いっぱいの則武小学校にするために頑張ります。みなさん、一緒に頑張りましょう。

2つ目は、「くすのき宣言」の最後の文にある「誰に対しても同じ態度で接し、則武小の仲間を全校一人一人が大切にします」ということを特に大切にしてほしいことです。

私は、則武小学校では、いじめが二度と起きないように、一人一人の人権、そして命を大切にしてほしいのです。

そのために、「誰に対しても同じ態度で接し、則武小の仲間を大切にします」ということを常に意識して、自分と同じように友達や仲間も大切に考え生活してください。

私たち6年生は、この春、中学校へ進みます。一歩先に進むので、自分や仲間の命、人権をますます大切にしていかなければならないと感じています。

1年生から5年生の皆さんは、則武小学校が笑顔あふれる学校であり続けるよう、「くすのき宣言」を意識して生活してください。

3つ目は、「あいさつ」です。

これは、私が大切にしていることのひとつであり、くすのき宣言のひとつでもあります。

私があいさつを大切だと思う理由は一つです。それは、相手とのコミュニケーションになるからです。

朝、友達にあいさつをして元気に返してくれるとうれしくなるし、元気なのだと思えます。逆に何も返してくれない時は、新パインあるし、元気がないのはなぜかなと思います。また、あいさつをしてもらうと自然に笑顔になれます。

だから、あいさつは大切だと思うのです。

さらに、レベルアップできる人は、相手の目を見てあいさつ、お辞儀をしてあいさつ。「～さん」のように名前付きあいさつを試みましょう。もうできている人を見かけることもありますが、レベルアップしたあいさつをされたら、もっとうれしくなりますね。

私たち6年生が卒業しても、伝統の一つとして当たり前にあいさつができ、活気がある則武小学校にしていってください。

まずは、自分からやってみることが大切です。私もよりよいあいさつを続けます。皆さんも頑張ってください。

後期児童会執行部